

二〇二六年度 前期 第四十七回 昇格・昇段検定試験要項 しめきり 四月十四日(火)

第四十七回昇格・昇段検定試験を左記の要領で実施いたします。

・毛筆の部に「助教」の上の段級として、「修士」・「準修士」を設けています。「助教」・「準修士」の方は、更なる研鑽と実力養成のため挑戦してください。

・毛筆の部「師範・準師範検定試験」の受験資格は「高士」以上。六段以上の方は更なる勉強のために昇格検定試験を受験し、師範試験を目指してください。

毛筆一般の部

※氏名の入れ方を変更します。

第一種(昇格の部) 「〇〇書」もしくは「〇〇臨」と入れてください。「漢字」「かな」ともに「条幅研究」と同様

修士・準修士の部			助教までの部		種別
助教・準修士			準六段以上準助教まで		対象
共通	かな	漢字	かな	漢字	
⑤半紙手紙文（半紙を縦長に使い縦書き。漢字・かなの変換不可。句読点不要）	右の①④と同じ	右の①④と同じ	④書歴書 四十六ページに掲載	④書歴書 四十六ページに掲載	課題
			①半切創作 潮水還歸海 流人却到吳 相逢問愁苦 淚盡日南珠（潮水還つて海に帰し 流人却に吳に到る 相逢つて愁苦を問えば 涙は尽く日南の珠 李白）（書体随意） ②半切創作 杳渺鴉路深（杳渺として鴉路深し 蕭穎士）（書体随意。一行で書くこと） ③半切臨書 蘭亭序 神龍半印本（王羲之） 四十六ページに掲載		
			①半切創作 花鳥のほかに春はあけぼに霞みてかかる山の端の月（順徳院） ②半切創作 うかれける人や初瀬の山桜（松尾芭蕉） ③半切臨書 粘葉本和漢朗詠集（伝藤原行成筆） 四十六ページに掲載		
「すっかり春めいて、桜が咲くなど華やかで暖かい気候となつてまいりました。南禅寺の境内を通る水路閣は、明治中期に建設された琵琶湖疎水の一部で、水路閣の赤レンガと青もみじの対比がとても絵になり、写真スポットです。五月の連休に出かけませんか。」 段位 氏名			4,000 円		受験料

◎第一種合格者は、修士・準修士・助教・準助教・高士・準高士・六段の相当段位に昇格。

第二種（昇段の部） ◎第二種合格者は、相当段位に編入する。

昇段の部		種別
特級以上五段まで		対象
かな	漢字	課題
①半紙創作 ②半紙臨書 ②半紙臨書	①半紙創作 正己以格物（己を正しうして以て物を格む 呂東萊）（行書体で書くこと） ②半紙臨書 蘭亭序 神龍半印本（王羲之） 四十七ページに掲載 ①半紙創作 ゆうぜんとして山を見る蛙哉（小林一茶） ②半紙臨書 粘葉本和漢朗詠集（伝藤原行成筆） 四十七ページに掲載	
段 格 正 氏 物 己 名 以		受験料
2,000 円		

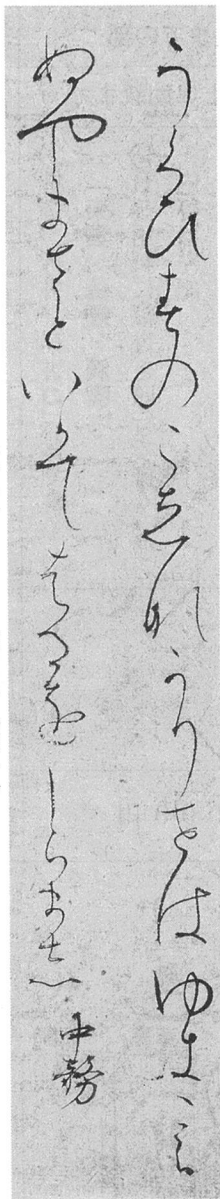
②半紙臨書課題（漢字） 蘭亭序 神龍半印本（王羲之）



※一行目三字、二行目三字で

段位 氏名（姓号）
 （釈文）「永和九年歳在」 永和九年、歳は在り

②半紙臨書課題（かな） 粘葉本和漢朗詠集（伝藤原行成筆）



段位 氏名（姓号）

（釈文）

うぐひすのこゑなかりせばゆきゝえ
 ぬやまざといかではるをしまし中務

〈提出方法〉

毛筆の部第二種作品は①②順にホッチキスでとめ、作品の右上に「検試出品券」を貼付してください。

漢字用

う ら に の り づ け
検 試
現在の段
段
支 部 名
※決定段位

かな用

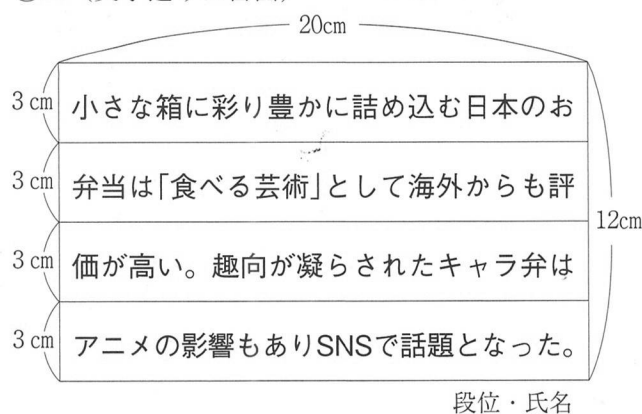
う ら に の り づ け
検 試
現在の段
段
支 部 名
※決定段位

硬筆一般の部

種別	対象	課題	筆記具	受験料
修士・準修士の部	助教・準修士	①楷書、行書、草書の三体で書く 「東雲・薫煙・満喫」 ②B5用紙に縦書き四行で書く 内容は左記 ③B5用紙に横書き四行で書く 内容は下記 ④書歴書	黒色の水性 ボールペン サインペン 万年筆等 (筆ペン不可)	4,000円
助教までの部	五段以上準助教まで			3,000円

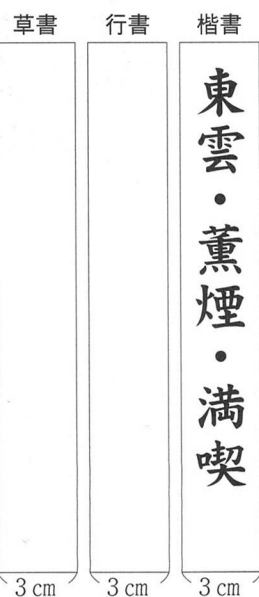
※B5の用紙は白色に限る。罫線は各自で入れること。
 (水明書道会館では一枚十円で販売しています)
 ※各作品の左下に段位・氏名を楷書で明記すること。

③口 (文字送りは自由)



①

東雲・薫煙・満喫



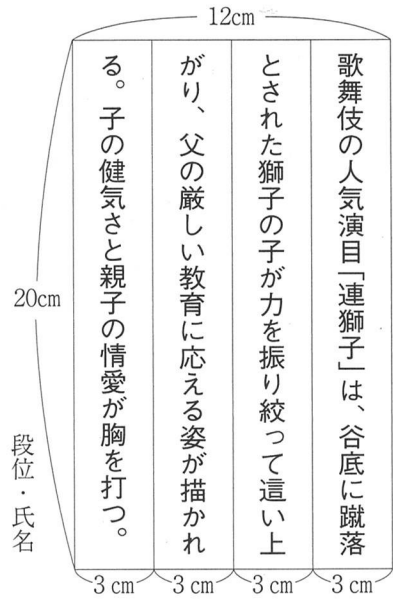
④ 本書歴書

B5の用紙を横にして縦書。

書歴書
氏名
現段位
記入年月日

〈注意〉
 住所・生年月日は不要

②イ (文字送りは自由)



ハ修士・準修士臨書課題漢字 (蘭亭序 神龍半印本 東晋 王羲之)



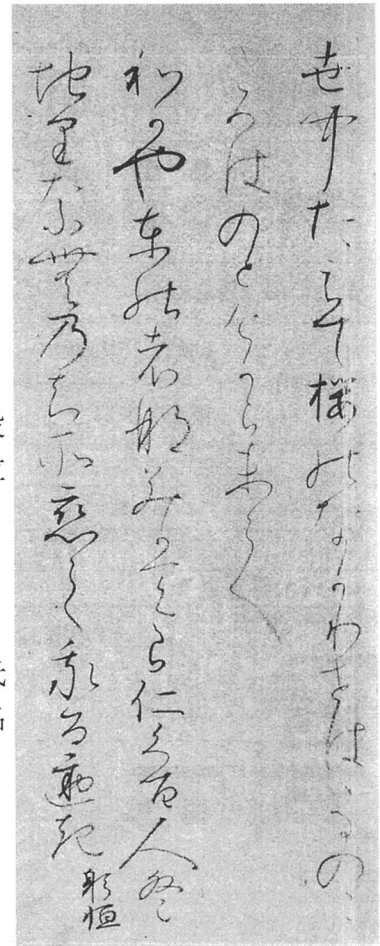
(釈文)

「永和九年歲在癸丑暮春之初會于會稽山陰之蘭亭脩禊事也羣賢畢至」
 永和九年、歲は癸丑に在り、暮春の初め、會稽山陰の蘭亭に會す。
 禊事を脩むるなり。群賢畢く至り、

段位

氏名

二修士・準修士臨書課題かな (粘葉本和漢朗詠集 伝藤原行成筆)



段位

氏名

(釈文)

世中(に)たえて桜のなかりせば、るのこ
 ろはのどけからまし
 和可也(東)能(省)那(美)可(定)良(仁)公(留)
 わがやどのはなみがてらにくる人は
 地(里)余(無)乃(短)所(之)我(留)遠(超)
 ちりなむのちぞ恋しかるべき躬恒

〈提出方法〉

「助教までの部」は、④の書歴書を上に
 して①②③の順でホッチキスでとめる。
 「修士・準修士の部」は、ホの書歴書を
 上にしてイロハニの順でホッチキスで
 とめる。

硬筆用

うらに
のりづけ

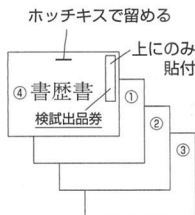
検試

現在の段

段

支部番号

※決定段位



検定試験作品の提出について

支部で提出される先生方へ

「受験者名簿用紙」と「振替用紙」については、前回ご出品いただいた支部のみに送付いたします。

必要な場合は、水明書道会館までご連絡（TEL/FAX 075-533-3453 E-mail: suimei3453@zeus.eonet.ne.jp）ください。送付させていただきます。なお、「受験者名簿用紙」は、水明のホームページからも印刷できます。

作品の送付

① しめきり日は、四月十四日（火）です。厳守してください。

② 検定試験作品は、月々の競書とは別封とし、封筒の表に「検試作品」と朱書し、差出人の住所、氏名を明記してください。競書作品と同封されると、後着になります。ご注意ください。

③ 支部出品の場合、「受験者名簿用紙」に記入のうえ、検試作品を名簿順に並べ、名簿用紙を必ず検試作品と同封してください。

提出先 a 水明書道会館 〒605-0992 京都市東山区鞍馬町通り七条上る

下堀詰町246-4

b 京都古梅園 〒604-0916 京都市中京区寺町通二条上る
※郵送の場合は必ず水明書道会館に送付してください。

出品券記入の注意

イ 現在の段の欄は四月号の水明誌の成績をみてから記入してください。
ロ 作品の氏名と同一にしてください。
ハ 支部番号は平常の記入に準じ、※欄には記入しないでください。

受験料の納め方

四月十日（金）まで

支部：支部用の振替用紙にて納めてください。

個人：受験料を郵便局備え付けの「青色払込取扱票」にてお振込みください。

口座記号…009990-9
口座番号…298502
加入者名…一般社団法人水明書道会
※通信欄に「検試」と明記してください。

毛筆	一般の部	第一種	漢字・かな	各4,000円
		第二種	〃	各2,000円
	学生の部（後期のみ）			400円
硬筆	一般の部	助教までの部		3,000円
		修士・準修士		4,000円

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00 京都	00990-9	00990-9	298502
一般社団法人 水明書道会		水明書道会	
水明誌申込書（必要事項を正確にご記入ください）		金額 74000	
種別	期票	書数	支部・整理番号
A. 支部購入（毎月購入）	月号	円	
(2023年4月号～1冊600円)			
B. 個人購読（1年分前納）	月号より	新読	
(2023年4月～1年分)	一年分	継続	
通信	検試		
加入者名	水明花子		
住所	京都市東山区堀詰町七条上る下堀詰町246番地4		
電話	075-533-3453		
料金	円		
備考			

検試と記入